富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

富山市八尾町西神通産の軟体動物化石（予報）

著者	田中 豊
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	31
ページ	95-96
発行年	2008-02-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=871

富山市科学博物館研究報告第31号，pp.95-96；(2008)

短　報

富山市八尾町西神通産軟体動物化石（予報）

田中　豊
富山市科学博物館
939-8084 富山市西中野町1-8-31

Molluscan fossils from Yatsuomachi-nishijinzuu, Toyama City.

Yutaka Tanaka
Toyama Science Museum
1-8-31, Nishinakano, Toyama, 939-8084, Japan

この付近は、音川累層の一部を連続的に観察することができ、以前から化石を多産することでよく知られている（藤井ほか，1990）。しかし近年では、河原の改修等により露頭が消失し、観察が困難になった部分も多い。平成19年（2007年）春期、富山市八尾町西神通地内の神通川左岸において護岸工事が行われた。その際に神通川河床より多量の軟体動物化石が産出したので報告する。

今回護岸工事により、長さおよそ150m、深さ10mにわたり神通川左岸の河床が掘削され、取り除かれた土砂より多量の軟体動物化石を得た（図１）。しかし、露頭のどの部分からそれぞれの化石が産出したかを特定することは不可能である。

化石産地の地質

工事の合間に掘削部分の上流側の一部について踏査を実施した。柱状図を図２に示す。地層の走向、傾斜はN52～56w，22Nで北に傾斜する。細粒～中粒の淘汰の悪い砂岩からなり、青灰色である。また炭質物を多く含んでいる。

産出した軟体動物化石

今回の調査で得られた軟体動物化石では *Glycymeris yamasakii,* , *Pseudaminantis pinguis, Securella chitaniana, Mya cuneiformis,* 以上４種が圧倒的に多い。この他 *Megangulus zyonoensis, Anadara* cf. *hataii, Phacosoma ettyuensis* も比較的多くみられる。この他、*Mizuhopecten* cf. *paraplebejus* が産出したことは興味深い。

現在クリーニング作業を継続中であり、より多くの種類の産出が期待される。

調査にご協力いただいた酒井建設株式会社にこの場をかりて感謝いたします。

参考文献

藤井昭二・清水正之，1990，富山県婦負郡八尾町城生・深谷産の軟体動物化石．富山大学教育学部紀要（自然科学篇）23(1) 1-7P.

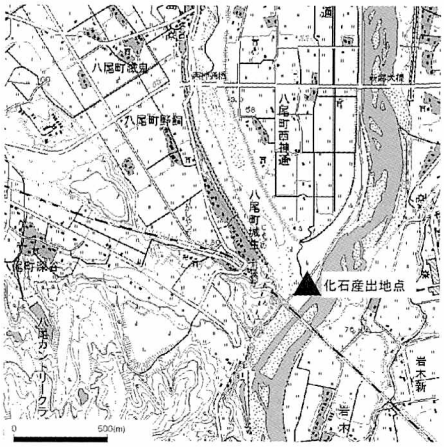


図１　化石産出地
（国土地理院発行1/25000地形図「速星」の一部を使用）

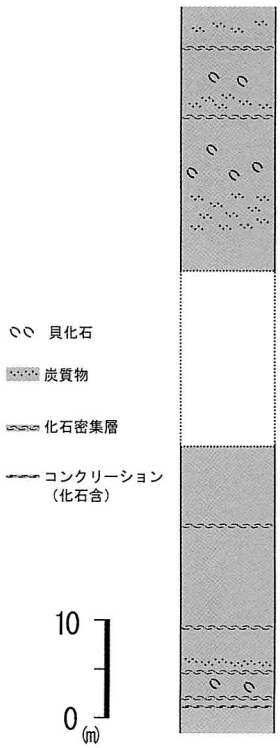


図２　柱状図

＊富山市科学博物館研究業績第348号

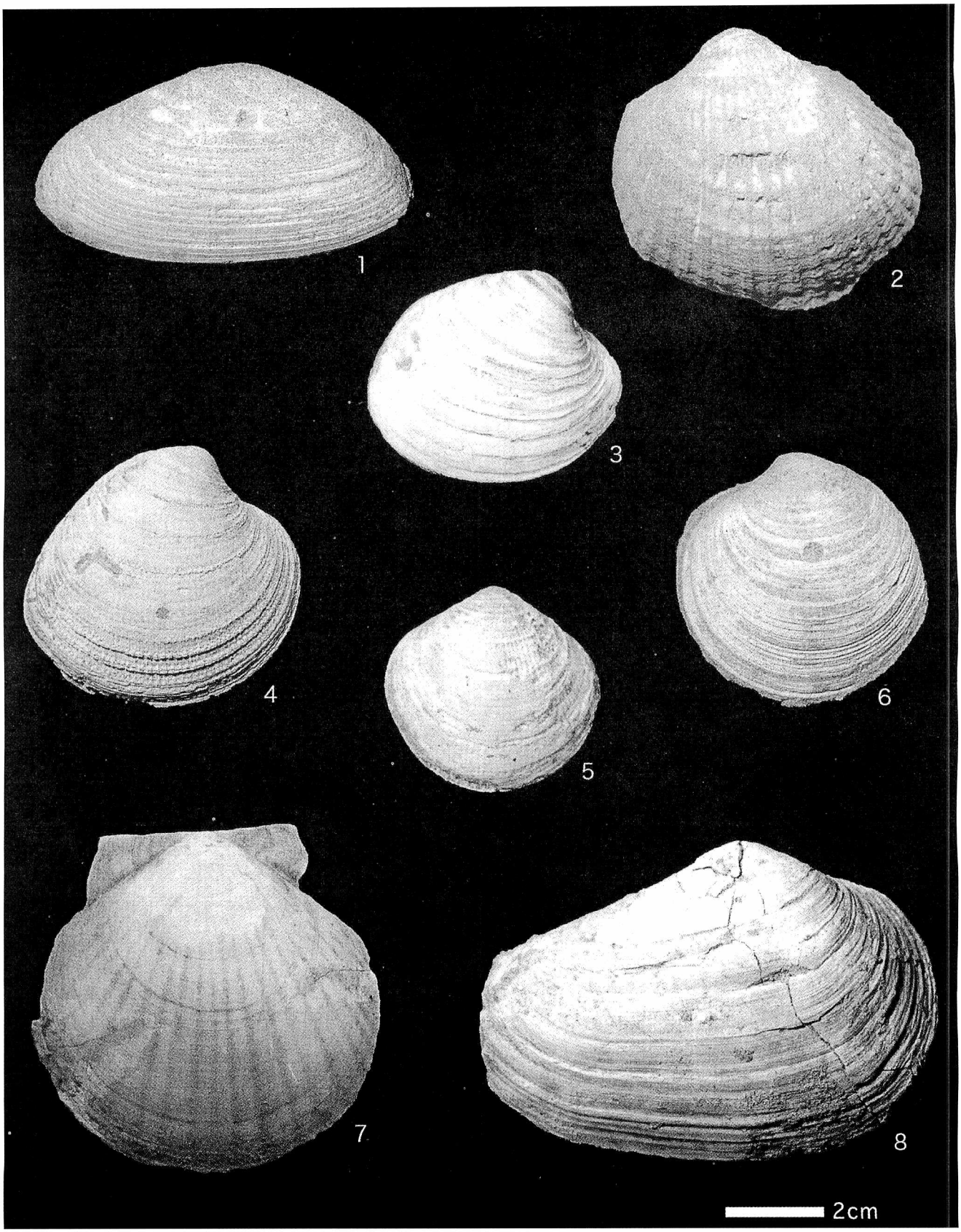


Plate
Fig.1: *Megangulus zyonoensis*
Fig.2: *Anadara* cf. *hataii*
Fig.3: *Pseudamiantis pinguis*
Fig.4: *Securella chitaniana*
Fig.5: *Glycymeris yamasakii*
Fig.6: *Dosinia* (*Phacosoma*) *ettyuensis*
Fig.7: *Mizuhopecten* cf. *paraplebejus*
Fig.8: *Mya cuneiformis*